

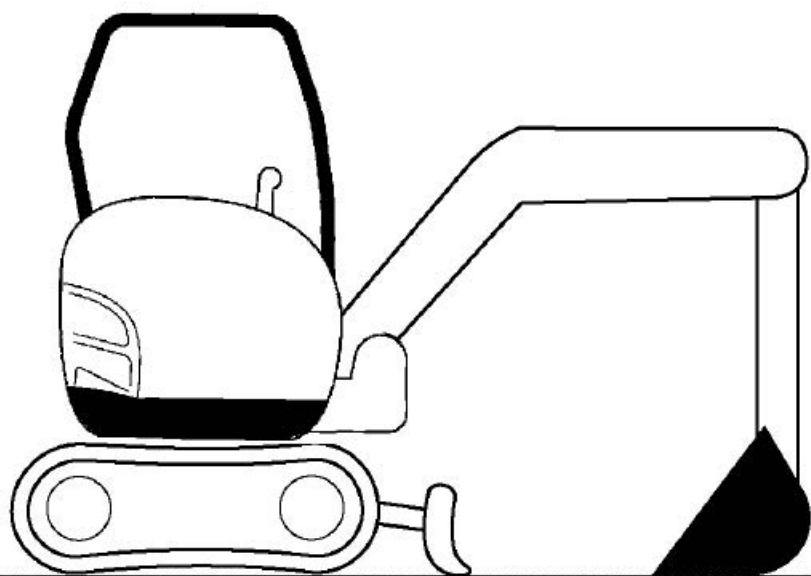


警告

- 作動油タンクの給油口を外すときは、油温が完全に下がってから外してください。油が噴出し、ヤケドをする可能性があります。
- エンジンを停止して、給油キャップをゆっくり開けてタンクの内圧を抜いてください。

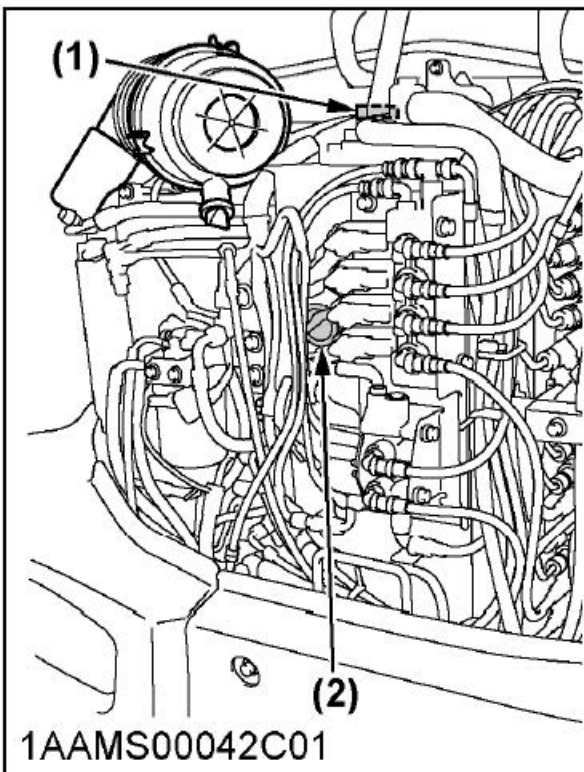
重要：

- 次記と異なる作業機姿勢や傾斜地で補給すると、作動油の過不足が生じます。必ず、水平な場所で指定の作業機姿勢にして補給してください。
 - 補給する場合は、付近の砂やゴミをよく拭き取り、必ず同一銘柄の作動油を使用してください。
工場出荷時の作動油銘柄は、推奨オイルとグリース一覧表に記載しています。
(詳細は推奨オイルとグリース一覧表 (134 ページ) を参照)
絶対に他銘柄と混合しないでください。
 - 油面計の上限を超えて給油すると、キャップより油が噴出する場合があります。
1. 機体を水平な場所に止め、スイング中央、アーム垂直、バケット底水平で、バケットおよびブレードを地面に接地します。

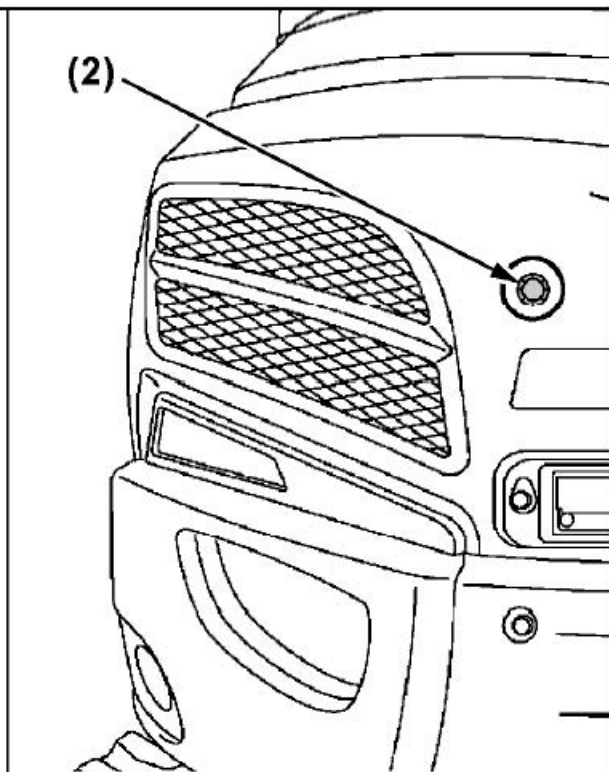


1AKBG00036A01

2. 油面計で作動油の量を点検します。
常温（10℃～30℃）において油面計の中央にあれば正常です。
3. 不足しているときは、給油口より補給します。
作動油に水などが混入したときは、全量交換をしてください。
（詳細は作動油の交換（112ページ）を参照）



1AAMS00042C01



- (1) 給油口
- (2) 油面計